



▲顕微鏡を用いた整形外科手術



坂口康道 医師
美濃病院副院長

美濃病院 整形外科

かかりつけ医、大学病院との連携により、皆さまに満足していただける医療サービスの提供に努めています。



渡辺友純 医師
整形外科医師



中村正生 医師
整形外科医長

関節リウマチ

関節リウマチは複数の関節の腫れと痛み、こわばりなどの関節症状を主体とし、肺・腎臓・皮膚などに病変を伴う自己免疫が関与する全身性炎症性疾患です。

早期診断と早期の治療開始が重要です。症状と血液検査、レントゲン検査、時にはMRI検査を総合的に判断して診断、治療を行います。

肺や腎臓などの病変を合併している場合は内科医と連携して治療を行います。治療は薬、手術、リハビリが3本柱になります。薬は既存の抗リウマチ薬に加えて当科でも生物製剤（レミケード、エンブレル）による治療を開始しました。

手術は炎症が強い関節に対して滑膜切除術を、骨破壊が進行した関節に対しては人工関節置換術や関節形成術を行っています。また、術後や日常生活の機能維持のためにリハビリも重要です。

変形性関節症に対しては保存的治療としてリハビリ（特に筋力訓練）、関節注射を行い、手術治療としては主に膝関節に対して関節鏡視下手術を、股関節や膝関節の重症例には人工関節置換術を行っています。

関節の腫れや痛み、こわばりなどでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。

美濃病院 ☎ 33・1221

リウマチ・関節外科外来

毎週 月・火・木曜日

9:00~12:00

せきつゐ 脊椎外科外来

毎週 月・火・木・金曜日

9:00~12:00



腰部脊柱管狭窄症

高齢化社会に伴い、加齢変化による整形外科の疾患が増えています。腰部脊柱管狭窄症はその代表的な疾患です。

腰椎の神経の通り道（脊柱管）が、増殖した骨や肥厚した靭帯によって狭くなり、神経が圧迫されて生じる疾患です。

症状は下肢のしびれや痛み、またこれらの症状により長く歩けなくなり、

症状が軽ければ鎮痛剤、ビタミン剤、血流改善剤や生活指導にて改善できます。

また、下肢痛が主体の場合は神経ブロックなどの注射の適応になります。

これらの治療で効果がないか下肢の麻痺、排尿障害が現れた場合には手術にて神経の圧迫を取り除きます。

なお、疾患の説明には患者様向けの分かりやすい解説書などを用いています。

腰椎椎間板ヘルニア

腰椎椎間板ヘルニアは、椎間板の中身の髄核がはみだし、神経などを圧迫して腰痛やしびれを生じる疾患です。



腰椎椎間板ヘルニアは、約90%は手術をしなくても治癒しないしは症状が軽快します。しかし、排尿障害や下肢麻痺を来す場合や耐え難い疼痛、早期社会復帰を望まれる場合は手術にてヘルニアの摘出を行います。

頸椎性性脊髄症

頸椎の加齢変化に伴って脊髄が圧迫されて手足のしびれや運動障害を来す頸椎性性脊髄症に対しては脊髄の圧迫を取り除く、椎弓形成術を行います。

また、腰椎がずれたり曲がったりする、腰椎すべり症や腰椎変性側彎に対しては金属を用いた脊椎固定術を適応することがあります。

美濃病院では大部分の脊椎手術に対して手術用顕微鏡を用いており、体に負担の少ない術式を選択しています。

手足のしびれ、腰痛などでお悩みの方は、脊椎外科外来へお気軽にご相談ください。

美濃病院 ☎ 33・1221